

腕試しテスト 《解答》

SQL トレーニング



腕試しテスト《解答》

※問題で使用する EMP 表、DEPT 表の構成やデータは研修で使ったサンプル表と同様とします。

Lesson1》

1 章：リレーショナル・データベースの特徴

以下の空欄に適切な言葉を記述してください。

【① リレーショナル・データベース】である Oracle は、データを縦軸【② 列】と横軸【③ 行】からなる 2 次元の【④ 表】形式で表現する。④にアクセスするときには必ず【⑤ SQL】と呼ばれる言語を使用する。また、複数の④にまたがるデータを取り扱う場合、共通情報列をもとにして、【⑥ 結合】できる。

Lesson2》

2 章：重複行の除外

以下の問い合わせ文で正しく実行できるものを 1 つ選択してください。

- 【A】SELECT DISTINCT job, DISTINCT deptno FROM emp;
- 【B】SELECT ename, SUM(sal) FROM emp GROUP BY deptno;
- 【C】SELECT * FROM emp WHERE deptno = 30 ORDER BY sal DESC;
- 【D】SELECT * FROM emp WHERE deptno NOT = 30;

解答

Lesson2：【C】

Lesson3》

2 章：あいまい検索

EMP 表から名前の 2 文字目に M のつく社員を表示する SQL 文として、適切なものを 1 つ選択してください。

- 【A】SELECT empno, ename FROM emp WHERE ename LIKE 'M %';
- 【B】SELECT empno, ename FROM emp WHERE ename LIKE '%M';
- 【C】SELECT empno, ename FROM emp WHERE ename LIKE '%M_';
- 【D】SELECT empno, ename FROM emp WHERE ename LIKE '_M%';

解答

Lesson3：【D】

Lesson4》

3 章：副問い合わせ

以下の SQL 文で、正しく実行できるものを 1 つ選択してください。

- 【A】SELECT ename FROM emp WHERE deptno IN (SELECT deptno FROM emp WHERE ename = 'SCOTT' ORDER BY deptno);
- 【B】SELECT ename FROM emp WHERE (job,deptno) IN (SELECT job,deptno FROM emp WHERE ename = 'ADAMS');
- 【C】SELECT ename,sal FROM emp WHERE sal > (SELECT job FROM emp WHERE ename = 'SMITH');
- 【D】SELECT ename FROM emp WHERE sal < (SELECT comm FROM emp WHERE deptno = 30);

解答

Lesson4：【B】

Lesson5》

3 章：インライン・ビュー

部門 30 と部門 20 の社員数の差分を求める SQL として、適切なものを 1 つ選択してください。

- 【A】SELECT COUNT(*) AS d30 - COUNT(*) AS d20 FROM
(SELECT COUNT(*) FROM emp WHERE deptno = 30),(SELECT COUNT(*) FROM emp WHERE deptno = 10);
- 【B】SELECT d30 - d20 FROM
(SELECT COUNT(*) AS d30 FROM emp WHERE deptno = 30),(SELECT COUNT(*) AS d20 FROM emp WHERE deptno = 20);
- 【C】SELECT d30 - d20 FROM
(SELECT COUNT(*) FROM emp WHERE deptno = 30 AS d30),(SELECT COUNT(*) FROM emp WHERE deptno = 20 AS d20);
- 【D】SELECT d30 - d20 FROM
(SELECT COUNT(*) AS d30 FROM emp)(SELECT COUNT(*) AS d20 FROM emp);

解答

Lesson5：【B】

Lesson6》

3 章：表の結合

以下の SQL 文を実行するとエラーが返ります。この理由として適切なものを 1 つ選択してください。

```
SQL> SELECT empno,ename,deptno,dname
2 FROM emp JOIN dept
3 ON emp.deptno = dept.deptno
4 WHERE dname = 'ACCOUNTING';
```

- 【A】EMP 表と DEPT 表の結合条件の指定に誤りがあるため。
- 【B】FROM 句での表の指定方法が間違っているため。
- 【C】選択リストの DEPTNO 列が、EMP 表の列か DEPT 表の列か区別ができないため。
- 【D】結合条件を WHERE 句で記述していないため。

解答

Lesson6：【C】

Lesson7》

4 章：行の挿入

以下の DML 処理で正しく実行できるものを 2 つ選択してください。

- 【A】DELETE FROM emp WHERE deptno = 20;
- 【B】INSERT INTO emp (empno,ename) VALUES (6534,ALICE);
- 【C】INSERT INTO emp (empno,ename,sal) VALUES ('ALICE',6534,(SELECT sal FROM emp WHERE ename = 'MARTIN'));
- 【D】UPDATE emp SET comm = NULL;

解答

Lesson7：【A】、【D】

Lesson8》

5 章：トランザクション

COMMIT、ROLLBACK についての説明で適切なものを 1 つ選択してください。

- 【A】ROLLBACK を実行した場合、一度 COMMIT したデータも含めすべて取り消される。
- 【B】表を作成した後、ROLLBACK を実行すると表の作成処理は取り消される。
- 【C】障害が発生した場合、ユーザーは常に明示的な ROLLBACK をする必要がある。
- 【D】デッドロックなどで SQL 実行時にエラーが発生した場合、エラーが発生した 1 文のみがロールバックされる。

解答

Lesson8：【D】

Lesson9》

6 章：表の作成

表の作成を行う SQL 文として、正しいものを 1 つ選択してください。

- 【A】CREATE TABLE sample (no NUMBER,name VARCHAR2(200));
- 【B】CREATE TABLE sample (no NUMBER(2),name VARCHAR2);
- 【C】CREATE TABLE sample (no,dname VARCHAR2(200));
- 【D】CREATE TABLE sample (no NUMBER(2) name VARCHAR2(200));

解答

Lesson9：【A】

Lesson10》

6 章：整合性制約

以下の DDL 操作に関する説明文の空欄に適切な言葉を記述してください。

- ・表作成時に制約名を指定して、制約を定義する場合には【 **CONSTRAINT** 】句を指定する。
- ・ビューとは表を参照するための【 **データベース・オブジェクト** 】であり、表内のデータを参照するための【 **問い合わせ文** 】が格納される。
- ・【 **オブジェクト権限** 】とは、表やビューに対するデータ操作（検索、変更）の権限であり、付与する場合は【 **GRANT** 】コマンド、④を取り消す場合は【 **REVOKE** 】コマンドを使用する。